

FULL WIRELESS

STEREO EARPHONE

TBS62K/W



安全上のご注意

本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
また、ご使用になる接続機器の取扱説明書の「Bluetooth」に関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

被害事象：異常発熱・火災・感電・事故・誤飲・破裂・ケガ・熱傷など。

- 医療機器の正常動作を損なう恐れがあるため、心臓ペースメーカーなど、電子機器を装着した人、および他の電子機器へマグネットを近づけない。
- 車の運転中は操作しない。
- 分解・改造をしない。
- 湯水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させない。
- 水没させない。濡れた状態で充電しない。
- 製品に金属などを差し込まない、接続端子を金属などでショートさせない。
- 無線機器の取扱いに関して指示がある区域などでは、その指示に従う。
- 指定の電圧以外の電源で使用しない。
- 使用前に各接続部を確認し、ホコリなどの付着や接続部の変形・破損したものは使用しない。
- 睡眠中は使用しない。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具などのそばや、湿度の高い場所で充電・使用・保管しない。
- 乳幼児・小児の手の届く場所で充電・使用・保管しない。
- 使用しない場合、全ての接続箇所をはずし、安全な場所に保管する。接続したまま放置しない。
- 当社製以外のケーブルを接続しない。
- 充電器やパソコンなどの出力端子同士を接続しない。
- 接続時に接続部を確認してまっすぐ接続し、無理な力を加えて接続しない。
- 火中に投入しない。電子レンジ、オーブンなどで加熱しない。
- 雷がなりはじめたら、安全のため本製品や接続されている各機器にさわらない。
- 重い物を載せたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かない。
- お手入れの際は、各接続部を取りはずす。
- 投げたり、衝撃を与えない。
- 大きな音量で長時間聴いて聴かない。

注意 人が軽傷および物的損害を負う可能性が想定される内容。

被害事象：出力せず・反応せず・断線・腐食・破損・故障・ケガなど。

- 接続端子極部に水分を付着させたり、結露した状態で使用しない。
- 充電対象機器を充電中に、本製品や充電対象機器が極端に熱くなったり異常を感じた場合は使用しない。
- 5℃から35℃の屋内環境で使用する。それ以外の環境では使用しない。
- 0℃から40℃の風通しの良い屋内環境で保管する。
- マグネット部をアナログ時計、磁気記録媒体（磁気カード、磁気テープ、プリペイドカードなど）、メモリーなどの記録媒体に近づけない。
- コネクタをはずす際は、コネクタ本体を持っておこなう。ケーブルを持って強く引っ張らない。
- 内蔵電池が液漏れした場合、素手でさわらない。失明の恐れがあるので、液を目に触れないようにする。万一、液が目に入った場合は水道水で十分洗い、医師の治療を受ける。液が服についても水道水などで十分洗い流す。皮膚に異常がある場合、医師に相談する。
- 歩行中は、周囲に十分注意する。
- 本機を接続する前に、接続する機器の音量を下げてください。
- 本機を使用中に不快感など異常を感じた場合は使用を中止する。
- 本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない。

梱包内容



・充電用USBケーブル（長さ：約30cm）

・イヤークッション

Lサイズ×2 Sサイズ×2
(Mサイズはイヤホンに装着済み)

・取扱説明書（本書） ・簡単ペアリング接続ガイド

使用上のご注意

- 本製品は、運転中や周囲の音が聞こえないと危険な状況では、事故の原因となりますので、ご使用にならないでください。
- 本製品をご使用になる時は音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で聴くと聴力に悪い影響を与える原因となります。
- 細菌による感染予防のため、耳に直接触れる部分は常に清潔に保ち、長時間連続しての使用はお避けください。
- イヤークッションを装着する際はサイズを確認して取り付けてください。万一、イヤークッションがはずれて耳に残った場合、無理に取り出さないで医師の治療を受けてください。
- ご使用になるアプリケーションや接続機器によっては本製品の各機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。＊アプリケーションごとの動作検証はおこなっておりません。
- 接続機器のOSバージョンアップなどにより、接続不具合が生じる場合がありますが、接続機器側のOSに依存するため、本製品側では対応できない場合があります。
- 本製品のタッチセンサー部は人体以外に金属にも反応するため、誤動作の原因となりますので、イヤホンのタッチセンサー部を金属に触れさせないようにご注意ください。
- タッチセンサー部の誤動作を防ぐために持ち運びの際は、イヤホンを充電クレードルに収納してください。
- 本製品を耳に装着し通話や音楽再生中、接続機器をポケットやバッグの中に入れても電波が遮蔽され、音が途切れる場合があります。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運ぶ際は強い力が加わらないようにご注意ください。本製品の破損、故障の原因となります。
- 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
- 充電クレードルの充電には、必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。
- 充電端子に触れたり、クリップなどの金属を接触させないでください。感電やショートによる破損やケガの原因となります。
- 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
- 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
- 内蔵電池が完全に放電していると、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかかる場合があります。
- 内蔵電池の残量が少ない状態で使用すると、内蔵電池の性能を低下させる要因となる場合があります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
- 内蔵電池は自然放電するため、保管の際は約1ヶ月に1回は必ず充電してください。またご使用前には、充電してからご使用ください。
- 本製品は完全防水ではありません。（防水性能等級 IPX4準拠）
- ご使用の際にはイヤホンおよび、充電クレードルの紛失には充分ご注意ください。当社では、単品の販売はおこなっていません。
- 本製品が汚れた場合、乾いた布でふきとってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどでふかないでください。本製品を傷める原因となります。
- 充電端子部は、充電接触不良の防止のため汚れた場合は乾いた布で汚れをふきとり、充電端子部を清潔に保ちご使用ください。
- 本製品は内蔵電池、金属部品、プラスチックなどでできております。燃やすと危険ですので、廃棄する時は各自自治体の指示に従った方法で、正しく廃棄してください。

防水性能について

本製品は防水仕様（防水性能等級：IPX4準拠）となっておりますが、多量の水濡れや水没など、取り扱いの仕方によっては故障の原因となります。下記の注意をお読みになり正しくお使いください。

- 本製品は完全防水仕様ではありません。本体を水洗いする、シャワーにあてる、水に沈めるなどの行為は、故障の原因となるのでおこなわないでください。お客様の誤った使用が原因の浸水による故障の場合は保証外となります。
- 湯水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させないでください。

ご注意

- ・イヤホン部やマイク部に水が付着すると、音がかもったり聞こえにくくなる場合があります。付着した水気は、柔らかい布などでふきとり、乾燥させてからご使用ください。
- ・使用後は、乾いた布で水分を拭き取り、乾いた場所で本製品を保管してください。
- ・乾かすために高温のドライヤーを使用したり、暖房器具の前に置いたりしないでください。
- ・充電する場合は、本製品や手が濡れていないことを確認してください。
- ・付属の充電クレードル、充電用USBケーブルは防滴および防水仕様ではありません。

Bluetooth 2.4GHz 電波について

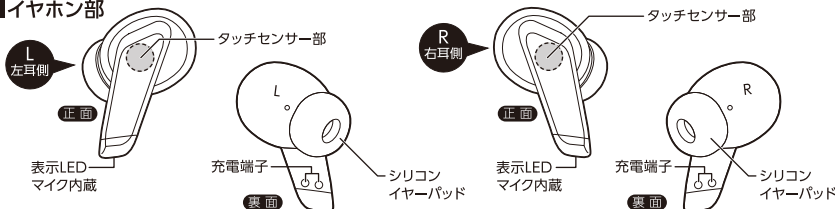
本製品は2.4GHz帯の電波を利用しています。電波の特性上、「信号機など交通信号システムが多く設置されている場所」・「Wi-Fiアンテナが多く設置されている場所」・「満員電車内など同じ2.4GHz帯電波機器の使用密度が高い場所」での使用環境では通信が途切れたりする場合がありますが製品不良ではありません。

Bluetooth (Class2) 最大通信距離

本製品の通信距離は、見通し距離で最大約10mまで通信が可能です。＊使用状況などにより通信距離が短くなる場合があります。

1. 製品構成と各部の名称

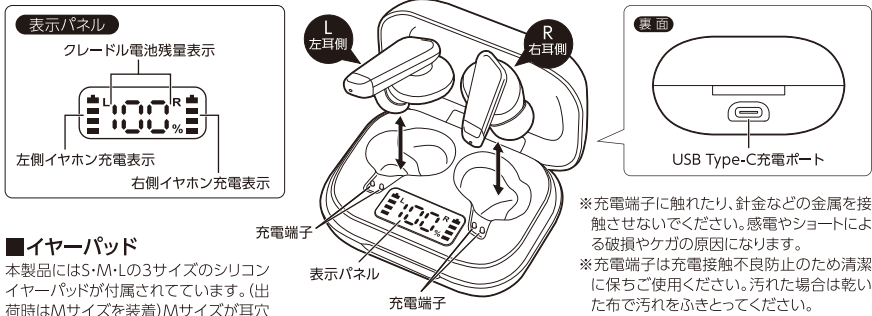
■イヤホン部



※内蔵のマイクはR側/L側イヤホンそれぞれに搭載されていますが、ご使用時にはスマートフォンと直接接続した親機側イヤホンのマイクのみが機能します。

■充電クレードル部

充電クレードルにはリチウムイオンポリマー電池が内蔵されています。充電クレードルが満充電状態の場合、イヤホンを最大約2.8回充電することができます。※使用状況などにより異なります。

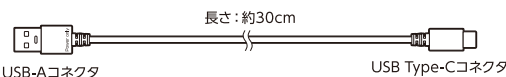


■イヤークリップ

本製品にはS・M・Lの3サイズのシリコンイヤークリップが付属されています。(出荷時はMサイズを装着)Mサイズが耳穴にフィットしない場合は、Sサイズ、Lサイズに交換してください。



■充電用USBケーブル (充電クレードル用)



2. 充電方法

ご使用前に必ず充電してください ① 充電する前に水分や異物の付着が無いことを確認してください。

本製品および充電クレードル、充電用USBケーブルに水分や異物の付着がある状態で充電すると、故障や感電の原因となります。必ず、充電前に水分や異物の付着が無いことを確認し充電をおこなってください。

② コネクタは精密パーツです。着脱の際はコネクタを持って接続部をご確認のうえ、慎重におこなってください。

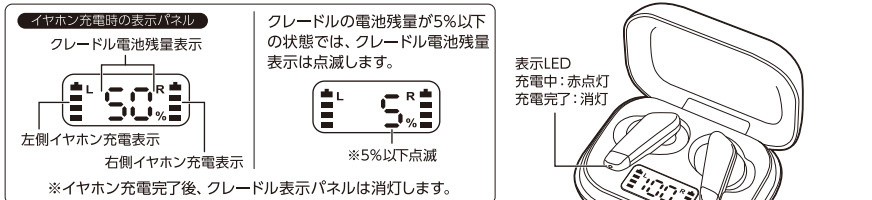
■充電クレードルの充電方法

- 充電クレードル裏面のUSB Type-C充電ポートに付属の充電用USBケーブルを差し込み、USB電源ポートに接続してください。
- 充電クレードルの充電中は、表示パネル中央のクレードル電池残量表示が点滅します。充電完了時にはクレードル電池残量表示が「100%」で点灯します。※充電クレードルを満充電にする時間は空の電池状態から約1.5時間です。



■イヤホンの充電方法

- 充電済みの充電クレードルにイヤホンを収納するとイヤホンの表示LEDが赤点灯し、充電が開始されます。イヤホン充電中は、充電クレードルの表示パネルが点灯します。



- 充電が完了するとイヤホンの表示LEDが約30秒間青点灯後に消灯します。イヤホン充電完了後に充電クレードルの表示パネルも消灯します。※イヤホンを満充電にする時間は空の電池状態から約1.5時間です。

① 充電クレードルの電池残量が無くになると、自動的にイヤホンの電源がONになりますのでご注意ください。

- イヤホン電源ONの時に、接続可能スマートフォンが近くにある場合はイヤホンはスマートフォンと接続されます。
- イヤホン電源ONの時に、接続可能スマートフォンが近くに無い場合、イヤホンは約5分間ペアリングモードになり、その後イヤホンの電源は自動的にOFFになります。

充電クレードルの電池残量がなくなった場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこない電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの誤接続を避けるためイヤホンを使用しない時には、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

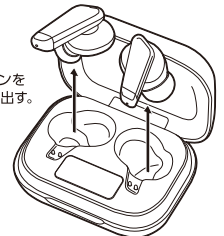
3. スマートフォンとのペアリング・接続

初めてご使用の際には、スマートフォンとイヤホンとを接続相手として登録(ペアリング)する必要があります。

- スマートフォンと充電済みの充電クレードルに収納したイヤホンを1m以内に置き、途中で障害になる物がないことを確認してください。スマートフォンのBluetooth設定をONにしてください。

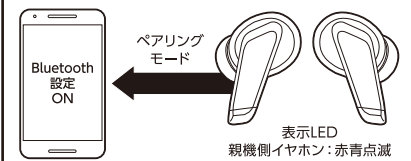


- 充電クレードルのフタを開き、左右のイヤホンを同時に取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになります。



電源ON: 左右のイヤホンを充電クレードルから取り出す。

- イヤホンがペアリングモードになると、親機側に設定されたイヤホンの表示LEDのみ、赤青点滅します。



イヤホン電源ON後、下記ボイスアナウンスが流れます。

- 左右イヤホンから、「電源が入りました」の音声。
- イヤホン同士の接続後、左右イヤホンから、「ペアリングしています」の音声。

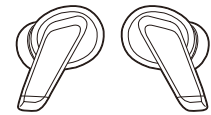
※一度ペアリングしたスマートフォンがBluetooth設定ONの状態である場合、イヤホンがそのスマートフォンとの接続を優先するためペアリングモードにはなりません。新たな機器とペアリングをおこなう際は既にペアリング済みのBluetooth設定をOFFにしてください。※約5分以内にペアリングが完了できない場合、ペアリングモードが自動で解除され、本製品の電源は自動的にOFFになります。

- スマートフォンのBluetooth設定方法に従い、ペアリングをおこないます。スマートフォンが本製品を認識すると、画面の接続機器リストに本製品の型番名「BS62」が表示されるので、スマートフォンを操作し選択してください。



※スマートフォンにより設定方法が異なりますので、必ずスマートフォンの取扱説明書をお読みいただき、ご不明な点は各通信会社までお問い合わせください。

- イヤホンとスマートフォンの接続が完了し、通信可能状態になるとイヤホンの表示LEDの赤青点滅は消灯します。



スマートフォンと接続時: 表示LED消灯

スマートフォンと接続時、下記ボイスアナウンスが流れます。左右イヤホンから、「接続しました」の音声。

一度ペアリングをおこなえば、次に使用する際に再度ペアリング操作をおこなう必要はありません。ただし、「接続」については、自動で接続までおこなう機種と、スマートフォンによる接続操作が必要な機種があります。スマートフォンによる接続操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

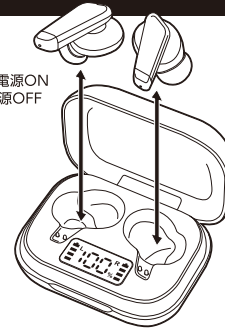
※以下の場合は再ペアリングが必要になります。
 ・本製品は最大4台までのペアリング情報を登録できます。5台目のスマートフォンとペアリングをおこなうと1台目にペアリングをおこなったスマートフォンのペアリング情報が削除されます。ペアリング情報が削除されたスマートフォンを接続する場合は、新たにペアリング操作をおこなってください。
 ・スマートフォンから本製品とのペアリング情報が削除された場合。
 ・ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して、再度ペアリングの操作をおこなってください。

4. 電源の入れ方、切り方

※下記の操作は充電済みの充電クレードルでおこなってください。

- ①充電クレードルのフタを開き、イヤホンを取り出してください。
イヤホンの電源が自動的にONになります。
- ②イヤホンの電源を切る場合は、充電済みの充電クレードルにイヤホン
を収納してください。イヤホンの電源がOFFになります。

取り出して▶電源ON
収納して▶電源OFF



① 充電クレードルの電池残量が無い場合は・・・

電池残量が無い状態の充電クレードルからイヤホンを出し入れしても、イヤホンの電源は自動でON/OFFしません。充電クレードルの電池が無い場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこなってください。

【注意】

※ご購入後、初めて電源をONにした場合やBluetooth設定ON状態のペアリング済みスマートフォンが近くに無い場合などには、イヤホンは自動的にペアリングモード(LED赤青交互点滅)になります。

② イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなった場合は・・・

※イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなると、イヤホンの電源が自動的にONになりますのでご注意ください。
※充電クレードルの電池残量がなくなった場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこない電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの誤接続を避けるためイヤホンを使用しない時には、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

イヤホン単体での電源の入れ方、切り方

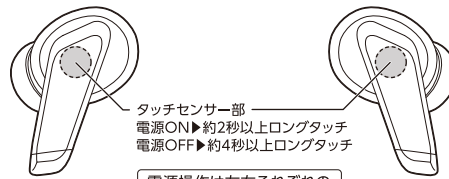
- ①左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ約2秒以上ロングタッチすると表示LEDが3回青点滅し電源がONになります。
- ②電源を切る場合は、左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ約4秒以上ロングタッチしてください。表示LEDが3回赤点滅し、イヤホンの電源がOFFになります。

イヤホン電源ON時、下記ボイスアナウンスが流れます。

- ①左右イヤホンから、「電源が入りました」の音声。
- ②左右イヤホンから、「ペアリングしています」の音声。
※ペアリング済みスマートフォンが近くに有る場合にはボイスアナウンスは流れません。
- ③スマートフォンと接続すると左右イヤホンから、「接続しました」の音声。

イヤホン電源OFF後、下記ボイスアナウンスが流れます。

イヤホンから「電源が切れます」の音声。

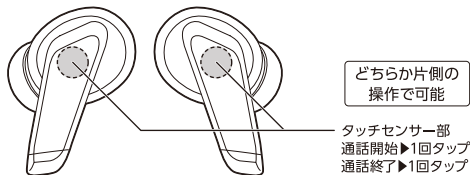


電源操作は左右それぞれのイヤホンで操作してください

5. 電話操作

電話を受ける

- ①スマートフォンに着信したら、イヤホンのタッチセンサー部を1回タップしてください。着信通話が始まります。
- ②通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を1回タップしてください。



どちらか片側の操作で可能

タッチセンサー部
通話開始▶1回タップ
通話終了▶1回タップ

【注意】

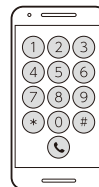
- ※イヤホンから聞こえる着信音は、スマートフォンに設定した音とは異なる場合があります。
- ※スマートフォン本体から着信音が鳴動するように設定している場合、イヤホンからは着信音が聞こえない場合があります。
- ※通話状態になるまで、少しタイムラグが発生する場合があります。
- ※スマートフォンと直接接続した親機側イヤホンのマイクのみが機能します。

電話をかける

- ①電話をかけるには、スマートフォン側で発信操作をおこなってください。
- ②通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。

【注意】

- ※スマートフォンにより、自動的に本製品での通話が開始できない場合があります。その場合は発信後、スマートフォンを操作して音声通話を本製品に切り替える必要があります。スマートフォンの操作方法につきましては、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ※本製品の操作でスマートフォンとの音声通話の切り替えはできません。



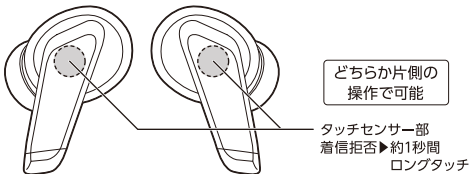
発信操作はスマートフォンでおこなう

着信拒否

着信中に、タッチセンサー部を約1秒間、ロングタッチすると着信を拒否することができます。

【注意】

- ※着信拒否時の動作は、スマートフォンや設定により異なります。
- 例)着信を遮断する-接続できない旨のアナウンスが流れる-留守番電話サービスに接続するなど、詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- ※スマートフォンによっては、本機能に対応していない場合や対応していても相性により動作が不安定な場合があります。



どちらか片側の操作で可能

タッチセンサー部
着信拒否▶約1秒間
ロングタッチ

音量UP/音量DOWN

- ①音量UP
右側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒間、電子音が鳴るまで、ロングタッチすると音量を上げることができます。
- ②音量DOWN
左側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒間、電子音が鳴るまで、ロングタッチすると音量を下げるすることができます。

左側イヤホンのタッチセンサー部
音量下げる▶約1秒間ロングタッチ

L
左耳側



右側イヤホンのタッチセンサー部
音量上げる▶約1秒間ロングタッチ

R
右耳側



【注意】

※スマートフォンやアプリによっては、本機能に対応していない場合があります。その場合、スマートフォン側で音量設定をおこなってください。スマートフォンの音量設定方法につきましてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

6. 音楽再生/オーディオビジュアル再生操作

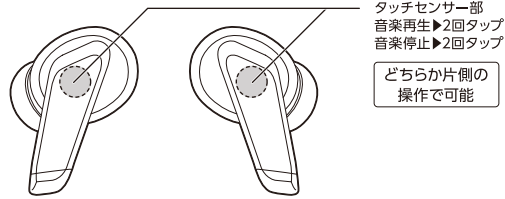
スマートフォンの機器操作機能(AVRCP)に対応している場合は、イヤホンでスマートフォンの音楽再生(基本操作)ができます。また、本製品は、SCMS-T方式で保護されたワンセグ/フルセグ音声にも対応しています

ご注意

- ※スマートフォンがA2DP・AVRCPプロファイルに対応していない場合はご使用できません。
- ※スマートフォンによっては、全ての操作に対応しない場合があります。
- ※スマートフォンの設定により着信音がイヤホンから聞こえない場合があります。詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- ※スマートフォンによっては、通話終了後自動で音楽再生に戻らない場合があります。その場合は、スマートフォンで音楽再生をおこなってください。

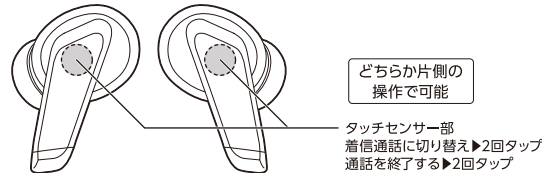
音楽の再生/停止

- ①イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が再生されます。
- ②再度、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が停止されます。



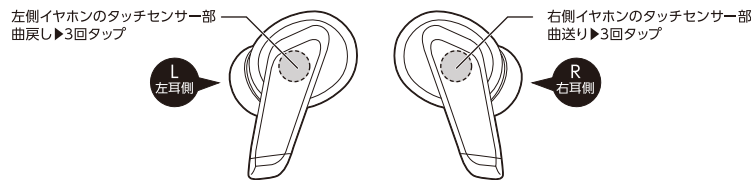
音楽再生中に着信通話をする

- ①スマートフォンに着信があると、音楽が一時停止し、イヤホンから着信音が聞こえます。
- ②イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると、通話状態になります。
- ③通話を終了するにはイヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。通話終了後、音楽再生に戻ります。



音楽の曲送り/曲戻し

- ①音楽再生中に右側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、次曲に曲送りされます。
※ワンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一つ送ることができます。
- ②音楽再生中に左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、曲頭に曲戻しされます。続けて左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、前曲に曲戻しされます。
※ワンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一つ戻すことができます。



ご注意

- ※スマートフォンやアプリによっては、本機能に対応していない場合や対応していても相性により動作が不安定な場合があります。
- ※タッチセンサー部を5回連続してタップをおこなうと初期化機能が働きますのでご注意ください。

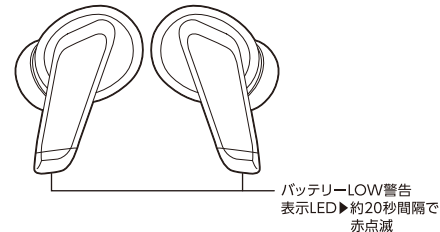
7. その他の機能

バッテリーLOW警告

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側の表示LEDが約20秒間隔で赤点滅します。
バッテリーLOW警告が出た場合は必ず、充電をおこなってください。

バッテリーLOW警告時には、下記ポイスアナウンスが流れます。

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側から約20秒間隔で、「電池残量が低下しました、充電してください」の音声。その後、電池が無くなると「電源が切れます」と音声の流れイヤホンの電源がOFFになります。

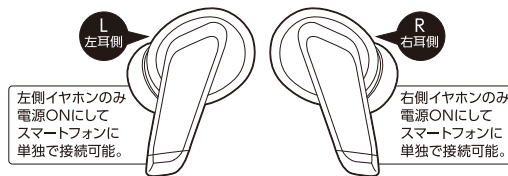


片側のイヤホンだけで使用できます

充電クレードルから片側のイヤホンだけを取り出して使用することができます。どちら側のイヤホンでも通話が可能です。

※音楽再生時の一部操作(音量UP/音量DOWN、曲送り/曲戻し)は使用するイヤホン側に設定された機能のみに限定されます。

※片側のイヤホンだけでスマートフォンに接続した時の音声はモノラル音声になります。



8. 製品仕様

Bluetoothイヤホン部仕様

型式名	BS62
通信方式	Bluetooth 5.0
最大通信距離	見通し距離約10m(Class2)
対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP
対応コーデック	SBC/AAC
ペアリング	最大ペアリング登録4台
パスキー(認証コード)	0000(ゼロ4つ)
内蔵バッテリー	リチウムイオンポリマー電池
充電時間	約1.5時間※
連続通話時間	最大約2.8時間※
待ち受け時間	最大約80時間※
音楽再生時間	最大約5.0時間※
サイズ(片側)	約W21×H31×D25mm
重量(片側)	約4g
材質	ABS他

充電クレードル部仕様

内蔵バッテリー	リチウムイオンポリマー電池
充電時間	約1.5時間※
イヤホン充電回数	最大約2.8回※
サイズ	約W61×H31×D45mm
重量	約30g
材質	PC+ABS他

充電用USBケーブル仕様

USB端子	USB AコネクタイUSB Type-C
ケーブル長	約30cm
ケーブル定格	DC5V/2.1A
重量	約12g
材質	PVC他

※使用状況などにより異なります

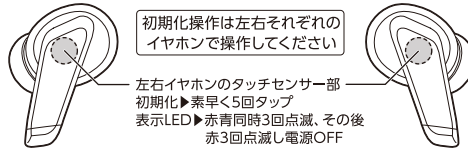
9. イヤホンの初期化(リセット)

ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して工場出荷状態に戻し、再度ペアリングの操作をおこなってください。

①本製品の初期化操作前にスマートフォン側の接続機器リスト内の型式名[BS62]は、スマートフォンを操作し、必ず削除してください。



②イヤホンの電源をONにして、ペアリングモードにします。左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ素早く5回タップしてください。イヤホンが工場出荷時の状態に初期化されます。初期化後イヤホンの電源はOFFになります。



③イヤホンを充電済みの充電クレードルに収納し、【3.スマートフォンとのペアリング・接続】の手順に従い、再度スマートフォンとのペアリング・接続操作をおこなってください。
※ペアリング・接続操作をおこなう際には、左右のイヤホンは充電クレードルから同時に取り出してください。

10. 操作一覧

動作・状態	操作方法	表示 LED	ボイスアナウンス・電子音
イヤホンの充電	イヤホンを充電クレードルに収納	充電中：赤点灯/充電完了：消灯	—
充電クレードルの充電	充電クレードルに付属の充電用USBケーブルを接続	クレードル表示パネル 充電中：残量表示/充電完了：100%表示	—
電源ON	充電クレードルからイヤホンを取り出す イヤホンのタッチセンサー部を約2秒以上タッチ	スマートフォンと非接続時 親機側イヤホン ペアリングモード：赤青点滅 スマートフォンと接続後、消灯	「電源が入りました」
電源OFF	充電クレードルにイヤホンを収納 イヤホンのタッチセンサー部を約4秒以上タッチ	充電中：赤点灯/充電完了：消灯 赤3回点滅後、電源OFF	「電源が切れます」
ペアリング	初めてペアリングするスマートフォンの近く(約1m以内)でイヤホンの電源をONにし、スマートフォンを操作する。	親機側イヤホン ペアリングモード：赤青点滅	「電源が入りました」 →「ペアリングしています」 スマートフォンと接続時 「接続しました」
待ち受け状態 (スマートフォンと接続時)	—	—	—
スマートフォンとの接続が切断した場合	—	親機側イヤホン ペアリングモード：赤青点滅	「接続が切れました」の ボイスアナウンス後ペアリングモード。 ※ペアリングモード約5分経過後電源OFF
再生/停止	タッチセンサー部を2回タップ	—	—
曲送り	右側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップ	—	「電子音」
曲戻し	左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップ	—	「電子音」
音量UP	右側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	「電子音」
音量DOWN	左側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	「電子音」
初期化	ペアリングモード時にイヤホンのタッチセンサー部を素早く5回タップ ※イヤホンの初期化後、イヤホンの電源はOFFになります	初期化時、赤青同時3回点滅 その後、赤3回点滅し電源OFF	「初期化します」 →「電源が切れます」
バッテリーLOW警告	—	赤点滅	「電池残量が低下しました、充電してください」 →「電源が切れます」
電話に出る	着信時にイヤホンのタッチセンサー部を2回タップ	—	着信音
電話を切る	イヤホンのタッチセンサー部を2回タップ	—	—
着信拒否	着信時にイヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	—

11. 保証規定

保証期間/ご購入日より **6ヶ月**

必ず、購入明細書を書きおおよびパッケージと一緒に保管してください。万一、修理の際は、現品に購入明細書と書きおおよびパッケージを添え、記載の当社住所までお送りください。なお、修理後の保証期間の延長はいたしません。

●保証期間内に、書きおおよびパッケージ記載の注意事項をお守りいただいた正しい使用状況で、万一故障した場合には本製品をお預かり後、無償で修理、または交換します。また、本製品の不具合に関連した、本製品以外の損害・費用・データ損失にしましては、一切の補償をいたしかねます。また、代替品の先送りなどのご対応はいたしかねます。
※次の場合は保証対象外となります。

- 1) 本製品(修理対象品)と購入明細書、書きおおよびパッケージの提示がおこなわれない場合。
- 2) 書きおおよびパッケージ記載の注意事項をお守りいただけない場合。
- 3) 個人売買や正規販売店以外で、ご購入した場合。
- 4) 地震、火災、落雷、台風などの災害により故障した場合。
- 5) ご購入後、落下や衝撃などの事象により故障した場合や水没、汚れにより故障した場合。
- 6) 健康被害が生じた場合。
- 7) 本製品や付属品を紛失・破損した場合。

●本製品のご使用が事故や法令違反の原因によりなるとも、一切の補償をいたしかねます。

●お預かりした製品が、保証対象外と認められる場合、修理費用等、実費負担をご請求させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

●本保証書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

●ご返送時にご記入いただいたお客様の個人情報、商品の修理に関するご連絡、修理・交換の対応以外の目的に使用いたしません。なお、上記利用目的の実施に必要な範囲で、業務委託先に預託する場合がありますのでご了承ください。